会員企業、大いに語る！

編集局インタビュー　⑱

―システムの雷対策は大丈夫ですか？―

山本　正（やまもと　ただし）

森長電子株式会社　代表取締役社長

森長電子からのご提案

IT 社会の基盤となるネットワークをはじめとした各種システムは、雷サージなどの異常電圧に極めて弱く、機器障害の約 50%は雷被害によるものです。システムダウンやデータ消去といったトラブルを回避するには、充分な雷対策が不可欠です。森長電子は各システムを雷から守る“サージエネルギー減衰方式の避雷ユニット”を開発。放送局や公官庁、企業への多くの納入実績がもの語る、信頼性の高い技術と製品で雷害対策をプランニングします。(HP より)

山本さんのプロフィール

出身地：富山県小矢部市　　年齢：50 歳　　家族構成：妻、子供 1 人

金沢市の中心街から南へ車で 20 分、近くの野田山からの裾野が広がる閑静な住宅街に森長電子（株）の開発・製造拠点がある。雄弁家である山本社長に約 80 分のインタビューをした。

（以下、要約）

編集局　お仕事の内容を教えてください。
山　本　私は 5 年前に社長に就任しました。入社して 12 年です。
以前は、化学関係の仕事をしていました。無線に興味があってこの会社に入ったのですが、その当時からデジタル化が進んで無線の需要が減っていきました。
30 年ほど前から電気工事の現場で、雷による被害を目の当たりにしていた先代の社長達が北陸の雷に対応する避雷器の研究を始めました。
以前の避雷器の多くは、太平洋側で開発したものを使用していました。それを北陸で設置しても上手く機能していないようだと現場の人達が気づき始めたのです。

こんなことがありました。
トンネルの電気工事の中で、保守をやっている人達が「夜も眠れないんだ」と愚痴を言っていたんです。理由を聞くと、「1 年に 360 回雷で機器が故障するんだ」ということでした。
北陸の雷は、11 月～3 月に集中しておきます。それも、夜中か明け方で、毎日駆けつけなければいけない現場の人達は精神的にも体力的にも大変だったようです。

避雷器を開発している太平洋側は、夕立の雷だから分からない、その意味が分からない、まして需要の少ない北陸のことなど眼中になかったということです。
弊社は困っている現場の人達のために何かできないかを考えました。そして高速の避雷器を開発したのです。

編集局　御社の強みは何ですか？
山　本　強みと言えるかわかりませんが、ホームページで、宇宙航空研究開発機構(JAXA) 山本教授のインタビュー動画を掲載しています。その中でも実績をご紹介頂いています。
使った結果、雷の被害が激減したというお客様の感想が一番ありがたいですね。
お客様には、信頼頂けるように一生懸命努力しています。

※宇宙航空研究開発機構（JAXA）　山本教授のインタビューより抜粋
一番驚いたのは気象装置に雷が落ちた時、対策していない周辺の設備はやられていたんですが、追跡系の設備は対策をしてあったので、パンザマストに直接取り付けてあるデリケートな気象用

のセンサ自体が壊れてなかったんです。34mアンテナ自身もすぐ横に落雷しているはずなんですから何が壊れてもおかしくないんですけど、内部にある設備は全部無事でした。これは非常に効果があったなと思っています。

編集局　ご趣味は何ですか？
山　本　コーラスをやっていました。
最近は、時間がなくて中々参加できませんが・・・。
大学で始めて、MRO 合唱団に所属して、県合唱協会にも入っ
年末の第九にも参加していたんですよ。
パートリーダーやマネージャーもやったりして・・・。
おせっかいな性格なのでしょうね（笑）
ストレス解消は喋ることかな、社員と喋るのも好きですよ。
相手は迷惑かもしれませんが（笑）
ジョギングも続けています。最近はウォーキングになっているかな？

編集局　休日は何をされていますか？
山　本　ちょっと恥ずかしいですが、殆ど勉強しています。
資格を取るのが好きで、今は 30 くらい持っています。最近は英会話など実務的なことをやっています。お金をかけても続かないものは続かないので、手軽に一人で出来ることが好きなんですよ。
気が小さいので、常に自分を高めて前進している気持ちがないと不安になるのかもしれませんね（笑）
資格取得も達成感があるのでストレス解消になるんですよ。仕事は一つ終わってもまた次へとエンドレスですからね。

編集局　今後のビジョンをお聞かせ下さい。
山　本　いずれは、海外進出したいですね。海外でも雷で困っている方がいると思うので、お役に立ちたいと思っています。
JAXA でも使って頂いて評価を頂いたので、次は NASA を目指したいですね。
IT 関係に関しては、介護システムがあります。
会長が僧侶という経歴を持っていることもあって、社員もボランティア精神の旺盛な人が多いと思います。ソリューションという言葉が流行る前から弊社はソリューションを実践してきました。
今後もお客様の要望に応えられるように常に努力していきたいと思います。

編集局　最後に ISA へ一言お願いします。
山　本　セミナーや総会にはなるべく出席させて頂いています。
経験のある方がその経験を生かした企画をして頂けたら良いのではないでしょうか？
今はお手伝いする余裕がありませんが、いずれは積極的な活動をしたいと思っています。

＜編集局ブログ＞
研究者と話しているような錯覚に陥りました。一押し商品の話になると熱心に説明してくださいます。子供を溺愛している親のように、製品の全てを伝えたいという気持ちがこちらにもガンガン響いてくるようです。

転職する時に福祉も考えたというだけあって、人生哲学をお持ちのようです。人との接し方は誠実を重んじ、信頼関係を大切される方なのだと感じました。
困っている誰かのために、安全・安心は我々が守るのだという強い信念がおありのようです。
災害時には、頼りになる存在ではないでしょうか？

生活の全てが仕事に結びついているのではないかと思うほど、自分の時間を費やしている方のようです。不真面目な私は「ストレス溜まらないのかな？」と少し心配になりました。
老舗を若くして引き継いで、トップで走り続けるのも大変なのでしょうね～。